DAIKO 蛍光灯ブラケット取扱説明書

保管用

対象器種	DCL-33669　　DCL-33670

- このたびは蛍光灯ブラケットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの蛍光灯ブラケットを正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ
- この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
  一般の方の工事は法律で禁じられております。

工事店様へ
- 工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様・お客様へ　器具取り付けの際のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従い行なってください。
  取り付けに不備があると、落下、感電、火災などの原因となります。
- この器具は、棚下、壁面の丈夫なところに取り付けてください。薄い棚下面や壁面、弱い棚下面や壁面などに取り付けますと、ねじ止めが弱く、落下の原因となります。

取り付け

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災などの原因となります。

改造

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。

電源電圧

- この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電、火災、絶縁不良の原因となります。

非防水

- 暖房器具、ガス器具などの真上、付近などの温度の高い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。(この器具は、5℃~35℃の温度範囲で使用するように、設計してあります。)

温度

●お客様へ　使用上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。
  感電の原因となります。

電源を切って

- ランプに水滴をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。
  ランプの破裂によるけがや感電、火災などの原因となります。

- ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類･ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類･ワット(W)数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

適合ランプ	FHF24S･E

適合ランプ

- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災などの原因となります。

可熱物

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

ランプ高温

- この照明器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

- 調光器による調光器使用は出来ません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと、器具やランプが短寿命となります。

■お手入れのしかた

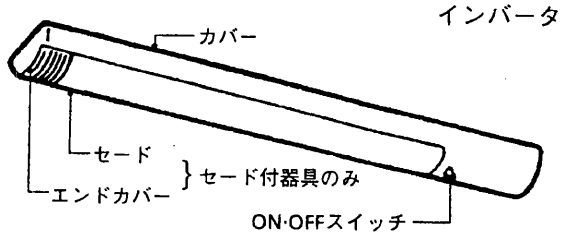
常に明るく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
器具のお手入れの際は必ず電源を切ってから行なってください。

- 器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。
- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。

【お願い】
- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

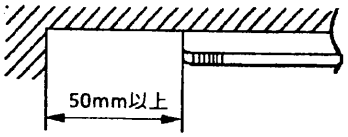
⚠ 注意
- 器具、ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因となります。
- 電気部品を、洗剤や薬品などでふかないでください。部品の劣化による感電や火災の原因となります。

■各部のなまえ



■器具を取り付ける前に

器具の取り付けには下図のようにスペースがあることを確認してください。(セード付器具の場合)



スペースがないとセードの着脱が行なえず、ランプ交換ができない場合がありますのでご注意ください。

■器具本体の取り付けかた

⚠ 注意 この器具はクロス貼りの棚下や壁面には取り付けないでください。クロス変色の原因となります。

1. カバーからセードとランプをはずしてください。
   セードをはずす場合は「セードのはずしかた」を参照してください。
2. 電源線の被覆を端子台のストリップゲージに合わせてむいてください。(図3)
3. 電源線を端子台の差し込み穴に押し込んでください。(図3)

⚠ 警告 接続が不完全な場合は接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

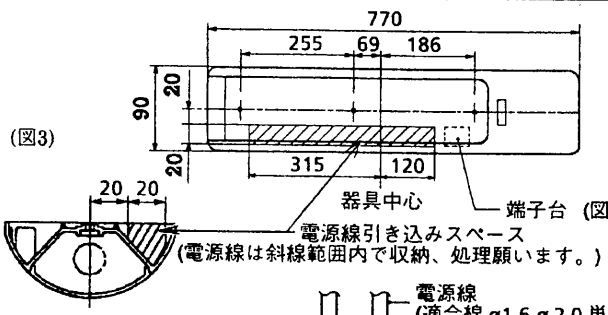
4. 電源線をカバーの電源線引き込みスペース内に収納してください。

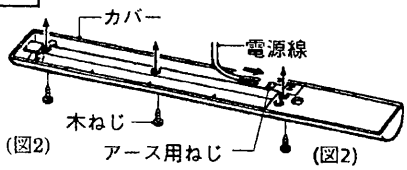
⚠ 警告 電源線が本体にはさまれ取り付けられますと、器具の変形、変質の原因となります。

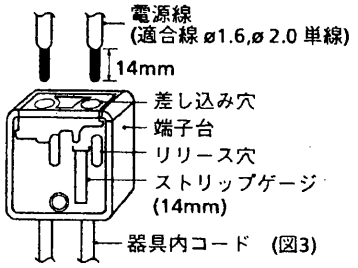
- 電源線をはずす時はマイナスドライバーをリリース穴に差し込んで電源線を引抜いてください。

⚠ 警告 感電の原因となります。電源線をはずす時は必ず電源を切ってください。

5. カバーを付属の木ねじ2本で確実に取り付けてください。(図2)
6. ランプとセードを確実に取り付けてください。



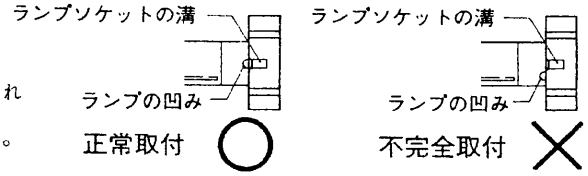




■ランプの取り付けかた

① ランプソケットにランプを全数取り付けてください。
- ランプソケットの溝とランプの凹みを必ず合わせてください。

(ご注意)
- 蛍光ランプが正常に取り付けられていることを、確かめてから電源をいれてください。
- 電源を投入した後にランプの位置を合わせてもランプは、点灯しません。必ず電源を入れ直してください。

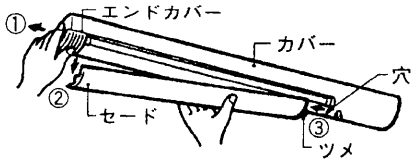


■セードのはずしかた

1. セードを手で支えながら、エンドカバーを矢印の①の方向へスライドさせる。
2. セードをカバーよりはずす。
3. セードのツメをカバーの穴より抜く。

取り付けは逆の順序で行ってください。

⚠ 警告 落下の原因となります。セードは確実に取り付けてください。



故障ではありません

- ランプの寿命がくると保護回路がはたらき、ランプが消えたり、点滅しますので、電源を切ってすみやかにランプを交換してください。
- 冬場など、周囲温度が低温のとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

■商品についてのご相談·お問合せ

相談窓口	商品についてのご相談	修理·アフターサービス (ダイコーエンジニアリング株式会社)
	本社 TEL (06)6972-5555(代)	TEL (06)6971-4443

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店) または相談窓口にご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

大光電機株式会社

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。 ブラケット(003712)A